

生徒間の学び合いと講義との連携についての意見

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年2月21日）

生徒間の学び合いと講義との連携についての意見です。

現在、PandA と KULASIS により、先生から生徒への情報の発信は活性化していると思いますが、生徒から先生への発信、生徒間の学び合いについてはクローズドなままとなっています。そこで、ソーシャルメディア (Yahoo 知恵袋や、Facebook のような) の形をとった、学生間の学び合い・情報共有プラットフォームを大学側で設置し、情報のやり取りの活性化を図るのはいかがでしょうか。やりとりが可視化できるようにすれば、先生が容易に学習状況を把握することもでき、良いフィードバックになると思います。

イノベーションの源泉となる学生間コミュニケーションを、安価に実現できると思います。小規模なテストで価値検証をすれば、有用性の把握も容易いと思います。Canvas などのサービスが参考になるかと思います。

【回答】（回答日：2019年6月4日）

（情報環境機構）

回答が遅くなりまして申し訳ありません。

教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げる京都大学として、正規科目に留まらず、課外時間での自学自習等、総合的に学びの支援を行うことは極めて重要と考えております。PandA や KULASIS 等のデジタル学習環境の今後を検討する際に、頂いたご意見を参考にさせていただきます。

PandA には「フォーラムツール」など、学生と教員の双方向のコミュニケーションを支援するツールも用意しており、ご活用いただいている授業もあります。PandA のご利用やその中のツールの選択は授業担当の教員の方針でお決めいただいておりますが、ツールの活用などについて学生の皆さんから授業をより良くする提案として先生とご相談されてはいかがでしょうか。

※「フォーラムツール」をご利用される場合、教員が PandA にツール追加を必要とする場合があります。